

いちご

平成23年10月15日

第19号

発行/清末商工振興会

責任者/齋藤重治



優雅な踊りをみせてくれたフラダンス
(清末ふるさと夏祭り)



バルーンアート・風船でいろんな
動物などをつくってました
(清末ふるさと夏祭り)



(維新海峡ウォーク)

● 会長あいさつ ●

『 絆 』

清末商工振興会会長 齋藤重治

昨年度は会員の皆様の多大なるご協力、ご支援をいただき無事四十周年の節目を迎える事ができました。誠にありがとうございます。心より厚く御礼を申し上げます。

本年は三月十一日東日本大震災をはじめ台風・豪雨災害に見舞われ日本中で、今年ほど『絆』という文字を目にする事は最近では無かったと思います。この度、私達も人の善意、コミュニティが提起されたのではないのでしょうか。また、私達は商工会活動を通じて地域社会貢献の一翼を担い商工会活動を通じて会員相互の絆も深まっていくものと確信しています。

まだまだ、私達の取り巻く経営環境は厳しいものがありますが、自分たちの立場を改善し、見直していくことが次の時代、五十周年に向け進むことが求められていると思う次第です。

私の好きな歌詞の中で「歴史の舵は、いつの世も熱あるものが取ってきた、豊かな郷土を築くため・・・」是非、会員の皆様、地域発展・地域貢献を会員企業それぞれが寄与していくことが求められると思います。

まだまだ不透明な時ですが清末商工振興会として一致結束し、これからの事業を取り組み自己研鑽に努めていきたいと思っておりますので会員の皆様のご協力、ご支援よろしくお願ひ申し上げます。

